鹿児島市立桜丘中学校
令和５年７月２０日

第４号

「１学期終了」

校長　上久保大介

１学期が終了しました。今年度に入り３年間続いた新型コロナウイルス感染症対策も、ようやく**緩和の方向に舵を切る**ことになり、以前の活動に戻りつつあります。にもかかわらずコロナ前とは何か違うように感じるのは、**感染症対策が深く生活に入り込んでしまった**からでしょうか。

今でも校内では、ほとんどの生徒がマスクをつけていますが、先日行われた**音楽発表会では多くの生徒がマスクを外し、歌声を披露**していました。音楽が専門の私としては、校内に歌声が戻ってきたことはたいへん嬉しいことです。**当日にかける意気込み**も学年が上がるにつれて熱くなっており、「こうでなくちゃ。」と頼もしく見えました。１年生にとっては、**上級生の歌声や円陣を組む姿がお手本**に見えたのではないでしょうか。これが**“あこがれ”**となり、自分たちの成長につながってくれたらと願うばかりです。

蓮乗寺では六月燈があり、今年は私も補導に出かけましたが、噂以上の人出にたいへん驚かされました。私も祭りは大好きで、必ず「イカ焼き」か「焼きスルメ」を買うのですが、補導という立場上、**においだけ**を楽しみました。

子供たちにとっては、**夜に出歩くことはスリルがあって楽しい**ものです。それが六月燈など、ある程度認められた外出だとなおさらです。今年は**小学校・中学校のＰＴＡの方たち**や、**青パトの方たち**にもご協力をいただき、**補導や見回り**をしていただきました。お陰様で羽目を外す生徒もなく、純粋に祭りを楽しむことができたようです。

私たち大人も、**子供の頃は羽目を外し、迷惑をかけてきました**が、大人になった今は、そのことを**棚に上げ、隠しています**。でも、それでいいのです。隠しているからこそ、**子供の行動を理解でき、正しく叱り、導くことができる**のです。棚から下げると、子供と同じになり正しい接し方ができなくなります。

明日から夏休みになります。**この４２日間はお子さんをご家庭にお返しします**。もちろん部活動もありますが、この機会にお子さんと**大いに語り、触れ合い、正しく接し、充実した夏休み**にしていただきたいと思います。